

# 第 90 回実践勉強会 実施レポート

12月12日 19時45分~21時15分

大田文化の森 多目的室

## 「慢性関節リウマチの病態と薬物療法」

演者：池上総合病院 整形外科リウマチ科

桑原 茂 先生

参加者102名

### 質疑応答

Q：ヒュミラ使用例の脱落が多い印象を持つが、バイオ製剤を増量することによって副作用の発現率が増加するのか

A：今までは添付文書通りに使用することが推奨されていたが、現在はある程度医師の裁量で使用できるようになってきた。どのバイオ製剤も治験時に倍量試験を行っているので安全性は確保されている。

Q：シムジア使用例も脱落するケースが多い。特殊な理由が考えられるか。

A：シムジアは薬剤を投与していないと効果が得られない。脱落した理由には患者負担等の理由もあるのではないかと。

Q：ゼルヤンツに対する期待について

A：JAK阻害薬まで使用している例はいない。知り合いの医師では70例ほど使用しているが特に問題がないと伺っているが、悪性腫瘍のリスクは考慮すべき。